

私たちが芦屋市に移り住んだのは、戦後間もない昭和二十四年十二月のことでした。そのころの芦屋は、空襲で一面の焼け野原だったところへ、家があちこちで建て始めていました。夫・内海清は昭和五年に内務省に入り、二十一年初めには兵庫県庁へ赴任していましたが、その年の秋GHQから公職追放の命が下され、芦屋に来たころは義兄の経営する会社の副社長として、大阪まで通勤する生活を続けておりました。間もなく公職追放は解除されましたが、ちょうどそのころ、当時の市長であった猿丸吉左衛門氏から「芦屋市政に協力してほしい」とのお話

芦屋の人



撮影・桑田敬司(ハナヤ勤兵衛)

夫の回顧録「浮草の如く(昭和十五年)」には、そのころの芦屋のようすがこのように書かれています。「想像していたとおり、市」とは名のみで、あらゆる点で旧態依然たる「村」であり「役場」でした。村から一足飛びに市になつた無理や、抜きがたい古い習慣が災いしていたと思います。さらに大問題は財政でした。昭和十五年市制施行当時、歳出総額に近い黒字を残した芦屋市は、戦後昭和二十四年まではどうやら赤字を出す事に越してきたのですが、巨額を要する戦災復興費と、芦屋のような都市には不利なシャープ

芦屋―戦災からの復興

があり、最初はお断りしたものの、三顧の礼にお応えせざるを得なくなりました。昭和十六年五月、芦屋市の助役に就任することとなりました。夫の回顧録「浮草の如く(昭和十五年)」には、そのころの芦屋のようすがこのように書かれています。「想像していたとおり、市」とは名のみで、あらゆる点で旧態依然たる「村」であり「役場」でした。村から一足飛びに市になつた無理や、抜きがたい古い習慣が災いしていたと思います。さらに大問題は財政でした。昭和十五年市制施行当時、歳出総額に近い黒字を残した芦屋市は、戦後昭和二十四年まではどうやら赤字を出す事に越してきたのですが、巨額を要する戦災復興費と、芦屋のような都市には不利なシャープ

またアメリカモンテペロ市と姉妹都市提携を結びましたのも、市立芦屋病院を総合病院として開院しましたのも、夫の市長在任中昭和三十六年のことでした。振り返れば、いい思い出もつらい思い出も、本当にいろいろとございました。当時小学生だった息子も今は還暦目前、あのころは、毎日ひっきりなしにお客様で、たいへんだったわね」と当時を振り返ります。その夫も平成三年に亡くなり、今は「芦屋」で眠っております。今の私は、日曜日の礼拝を欠かさず、晩年には夫も楽しみに参加していた月一回の家庭集会を続けながら心静かな日々を大切に過ごしているところでございます。

フェニックス共済に「家財再建共済」が新設されました

本制度は、阪神・淡路大震災で学んだ教訓「助け合い」の大切さを生かし、兵庫県が条例に基づき実施する信頼の制度です。このたび、これまでの「住宅再建共済」に加え、「家財再建共済」が新しくできました。＜申込書は、郵便局・県庁・県地方機関・市役所などにあります＞【家財再建共済の負担と給付】 賃借・借家にお住まいのかたも、ご加入いただけます。■共済負担金 年額1,500円*新規加入年度は、月額150円*残月数*上限1,500円 ■共済給付金 家財を補修・購入した場合 全壊50万円/大規模半壊35万円/半壊25万円/床上浸水15万円 対象家財は、住宅再建共済の対象となる住宅の中にある全家財(生活に必要な動産) ■申し込み方法 加入申込書に必要事項を記入して郵送 加入申込書に必要事項を記入し、郵便局の窓口へ提出 ホームページ(pdf) https://www.jutakusaiken.jp/ で申請

問い合わせ 兵庫県住宅再建共済基金 ☎078-362-9400

「大原町地区地区計画」決定案を縦覧

- 縦覧件名 阪神間都市計画(芦屋国際文化住宅都市建設計画)地区計画の決定大原町地区地区計画(芦屋市決定)案
- 縦覧期間 8月17日~31日 平日の執務時間内
- 縦覧場所 都市計画課



《意見書の提出》 この案について、住民および利害関係人は、縦覧期間中に市へ意見書を提出することができます。意見書は個人情報以外は都市計画審議会の資料として公表されます。意見書の提出は、都市計画課へ。

問い合わせ 都市計画課 ☎38-2109

秋の公民館講座・受講生募集

【会下山遺跡と芦屋の先住者―弥生社会の再現を科学する】 ■期間 9月10日~11月12日(金) 午後1時30分~3時<全8回> ■会場 市民センター401室 ■内容 「弥生青銅器と会下山遺跡の時代」大阪大学教授・福永伸哉氏 / 「銅鐸の山なみ」奈良文化財研究所・難波洋三氏 / 「王権胎動」榎原考古学研究所部長・寺澤薫氏ほか ■定員 80人 ■受講料 2,500円

【芝垣先生と行く「スペインへの旅」】 ■期間 9月11日~25日(土) 午前10時~11時30分<全3回> ■会場 市民センター401室 ■内容 サン・セバスティアン「バスクの人々」パルセロナ「フラメンコ」アンダルシア「アルハンブラ宮殿」 ■講師 アメリカン大学大学院客員教授・芝垣哲夫氏 ■定員 60人 ■受講料 1,300円

【申し込み】 はがきかファクスに、講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、8月30日(月)消印有効 までに下記へ。応募多数の場合抽選(市民優先)

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/FAX 31-4998 (〒659-0068 葉平町8-24)

谷崎潤一郎記念館の催し

【文学館講座】 作家・柳谷郁子が語る ~名作の愉(たの)しみ~ ■日時 8月26日(木) 午後10時30分~正午 ■内容 谷崎潤一郎作「癡癡ふうてん」老人日記 の作品背景・作家の心情などを語る ■講師 作家・柳谷郁子氏 ■定員 16人 ■受講料 2,300円 ■申し込み 下記へ

【特別講座】 思いきり愉(たの)しむ谷崎潤一郎 7 ■日時 9月12日(日) 午後2時~4時 ■テーマ 谷崎さん、フェミニズムは好きですか? 谷崎潤一郎と「新しい女」の時代 ■講師 井上勝博(当館学芸員) ■定員 先着20人 ■受講料 1,000円(コーヒー付き) ■申し込み 下記へ

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX 38-3244 ㊟ashiya-tanizaki@rhythm.ocn.ne.jp

芦屋市制70周年記念写真集「芦屋の四季・70選」<第4期>入選作品

《選定委員》 山中健芦屋市長/永田徹氏(ハナヤ勤兵衛・撮影部長)/和井行彦氏(グラフィックデザイナー)/井上正三氏(画家)/中村公彦氏(中村写真事務所代表) 問い合わせ 広報課 ☎38-2006



①堀川達也さん「芦屋川のさくら・開森橋」 ②福井恵美子さん「浜辺の授業・芦屋川河口」 ③杉本陽子さん「モンテペロ公園」 ④鷹海一吉さん「桜見」 ⑤古川茂見さん「憩う春花壇・芦屋市役所」 ⑥竹田委久子さん「春爛漫・キャナルパーク」 ⑦中井茂人さん「新緑の滝乃茶屋」 ⑧濱田恒志さん「緑につつまれた図書館」 ⑨山内守さん「奥山貯水池」 ⑩歌川杜之助さん「新緑の溪流・芦屋川上流」

<第4期>入選作品・20点



⑪山口辰郎さん「芦屋川の清流と桜・開森橋」 ⑫黒住敬一郎さん「風そよぐ街・宮川河畔」 ⑬山口恭子さん「六麗荘町と青山」 ⑭西澤忠雄さん「マリンセンターの夜明け」 ⑮山内守さん「奥山貯水池」 ⑯小林滋子さん「花咲く街・呉川町」 ⑰妹尾陽子さん「風そよぐ街・宮川河畔」 ⑱山口辰郎さん「幽玄の森・ごろごろ岳」 ⑲山口辰郎さん「幽玄の森・ごろごろ岳」 ⑳山口恭子さん「六麗荘町と青山」 ㉑山口辰郎さん「新緑の溪流・芦屋川上流」 ㉒歌川杜之助さん「歓声・芦屋川」

「芦屋の四季・70選」すべての選考が終了しました

昨年七月から四期に分けて、市民の皆さんに応募していただいた市制施行70周年記念写真集「芦屋の四季・70選」の募集は、今回をもって終了しました。多くの皆さんに、多くのご応募をいただきました。ご協力いただき、本当にありがとうございました。

「芦屋の四季・70選」今後の予定については、次のとおりです。今後の予定については、次のとおりです。詳細が決まり次第、広報紙上でご案内します。 ■記念写真集の発行 十月末ころ ■入選作品等の展示 十月末~十一月初旬

美術博物館 展覧会
7月3日
8月29日
〈月曜日休館〉
問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/FAX38-5434

あしやのびじゅつ - MOVING! -
「MOVING(うごき)」をテーマに、美術博物館のコレクションの中からモーターなどで実際に動く作品や、筆跡や人の動作など、画面の中に動きのある作品を紹介しています。<要観覧券> 【関連企画】 コレクション×アーティスト×ワークショップ! ■こんにちは吉原治良さん ■日時 8月22日(日) 午後2時~3時30分 ■対象 小学4~6年生・先着20人 ■参加費 500円 ■内容 吉原治良作品の筆使いを、画家・寺島みどりさんと一緒に ■申し込み ファクスで美術博物館へ ■残された線と呼吸のリアリテイ ■日時 8月28日(土) 午後2時~4時 29日(日) 午後5時~7時 ■対象 高校生以上・15人 ■内容 ダンサー・岡登志子とともに、体の動き(ダンス)を通して松谷武判「流動K-2」との対話を試みる ■参加費 500円 ■申し込み ファクスで美術博物館へ

巷のコレクション ~風流展覧会~
コレクター自らが独断と偏見で集めた作品群を紹介。いまだ評価の定まらぬ大坂画壇をはじめ、絵はがき、幻の焼物「打出焼」にいたる多様な展示。<要観覧券> 【列品解説】 ■日時 8月21日・28日(土) 午後2時~(約30分) ■会場 展示室
みんなで歌いましょう ■日時 8月20日(金) 午後1時30分~3時 ■会場 講義室 ■指導 歌・加藤純子/ピアノ・沖倫子/LOVE ASHIYA ■参加費 500円(観覧料含む)*歌集「愛唱歌(野ばら社)のないかたは、歌集代1,000円別

美術博物館の講座 「具体」入門講座
1954年に芦屋で生まれた、戦後日本を代表する前衛美術グループ「具体美術協会」(具体)の、貴重な写真・映像を豊富に交え分かりやすく解説する入門講座。現代美術を楽しむ方法も見つけられる講座です。あなたも、この入門講座で「具体」通になってみませんか? ■日時 9月11日(土) 10月2日(土) 11月6日(土) 12月4日(土)/午後2時~3時30分 ■会場 講義室 ■講師 美術家・今井祝雄氏(元「具体」会員)/ ~本館主任学芸員・加藤瑞穂 ■定員 50人 ■受講料 1,500円(4回分)各回500円(いずれも観覧料含む) ■申し込み ファクスに氏名・住所・電話(ファクス)番号・年齢を明記し、8月31日(火)<必着>までに下記「具体入門講座」担当へ *応募多数の場合は、抽選します。
問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/FAX 38-5434

井上あずみ ファミリーコンサート
「となりのトトロ」「天空の城ラピュタ」「魔女の宅急便」など、世代を超えて愛され続ける名曲の数々をスタジオジブリ作品のオリジナル歌手・井上あずみがお贈りする、心あたまるファミリーコンサートです。市内の小学生との共演も、お楽しみください! ■日時 8月21日(土) 午後2時30分開演 2時開場 ■会場 ルナ・ホール ■出演 井上あずみ・古寺ななえ(ピアノ)・市内の小学生による合唱団(合唱指導:玉置喜美男) ■入場料 一般2,000円(当日2,500円)・中学生以下1,000円(当日1,500円) <全席指定> ■チケット販売所 市民センター事務所・グリラル葉平・市役所売店・ローソンチケット(Lコード53218) 井上 あずみ
問い合わせ 市民センター ☎31-4995